

グリーンフィールド富岡跡地

再整備基本構想・基本計画

令和 11 年度～供用

福島県富岡町

目次

1. 基本構想	1
1-1. 背景と目的.....	1
1-2. 上位計画の位置づけ.....	1
2. 計画条件の整理	3
2-1. 計画地の位置・概要.....	3
2-2. 交通アクセス.....	4
2-3. 富岡町総合スポーツセンター及び駐車場の状況.....	5
2-4. 計画地内の状況.....	6
3. 住民の意向	7
3-1. 参照した関連する取組の整理.....	7
3-2. 各取組の概要.....	7
3-3. 意向のまとめ.....	9
4. 事業者の意見	11
4-1. 意見収集方法一覧.....	11
4-2. 各意見収集方法の概要.....	11
4-3. ヒアリング・サウンディング調査結果のまとめ.....	12
4-4. 意見のまとめ.....	12
5. 跡地整備におけるコンセプト及び整備機能方針	13
5-1. コンセプト策定から供用開始の流れ.....	13
5-2. コンセプト策定.....	14
5-3. 機能整備方針策定.....	15
6. 計画地利用・施設整備方針	17
6-1. 導入機能.....	17
6-2. 計画地の施設配置方針.....	18
6-3. 計画地利用計画.....	19
6-4. フィールド BBQ エリアの機能詳細・想定規模・想定整備費用.....	21
6-5. トレイルエリアの整備方針.....	25
6-6. アーバンスポーツエリアの整備方針.....	25
6-7. オートキャンプエリアの機能・想定規模.....	26
6-8. 近隣施設との連携.....	28
6-9. 災害時の機能方針.....	29
6-10. 外構・植栽計画.....	30
6-11. イメージパース.....	31
参考資料	33
(ア) 関係法令の整理.....	33
(イ) 体育施設利用者アンケート調査結果.....	34

1. 基本構想

1-1. 背景と目的

計画地であるグリーンフィールド富岡跡地が位置する富岡地区は、富岡漁港や富岡川などの自然資源や富岡駅、富岡町総合スポーツセンターが存在しています。

グリーンフィールド富岡跡地周辺には、野球場や多目的広場などを備えた富岡町総合スポーツセンターが併設されており、多様なスポーツ活動の場として、住民はもちろん県内外から多くの人に利用されています。

本計画で示すグリーンフィールド富岡は、東日本大震災及び原発事故により、当該敷地内に存在していた既存建物等がすでに取り壊され未だ利用が停止した状態が続いています。このような状況を踏まえ、当該敷地を含めた利活用の検討を進めてきました。

再整備にあたっての検討過程では従前のバーベキュー（以下 BBQ）やキャンプといった屋外アクティビティ機能の再生・復活が求められるとともに、特定の利用にとどまらず、より多くの利用者に親しまれる場とすることが求められており、利用形態の多様化や多角的な機能の導入が期待されています。

こうした状況を踏まえ、本計画では、震災以降未利用となっている当該敷地等について、従前の BBQ やキャンプ等の屋外アクティビティ機能の再生を基本としつつ、より多様な利用者が訪れ、継続的に活用される場とすることを目指し、他の町内施設との役割分担や求められる機能と整備の方向性を整理することを目的とします。

あわせて、施設の安全性、利便性、維持管理の観点にも配慮しながら、近隣施設や夜の森地区との周遊拠点の一環として関係人口・交流人口拡大に寄与できるよう、基本構想・基本計画を策定します。

1-2. 上位計画の位置づけ

A) 上位計画との関係性

本構想・計画は、富岡町災害復興計画（第三次）を上位計画として位置づけ、その基本方針を踏まえて策定します。

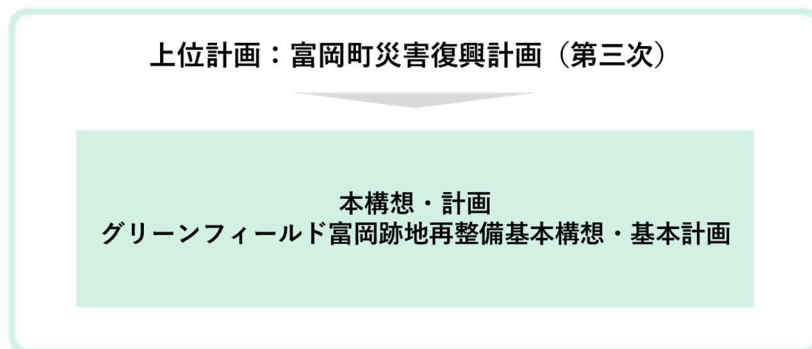


図 1.1 上位計画の位置づけ

B) 上位計画における野外活動の位置づけ

上位計画である富岡町災害復興計画（第三次、以下三次計画）において、グリーンフィールド富岡跡地や関連する活動がどのように位置づけられているか整理し、以下の要素を抽出しました。

- ✓ 三次計画の基本方針における重点政策に、「創生 交流・関係人口の拡大」が掲げられており、グリーンフィールド富岡跡地にも関係人口・交流人口の拡大に寄与する機能を設置します。
- ✓ 三次計画の基本方針におけるプランに、「ひとづくり 子どもも大人もともに学び・育ち、文化がはぐくまれるまち」と設定されており、子どもから大人まで富岡ならではの体験をする機会を充実させるアクティビティが、グリーンフィールド富岡跡地で実施できるように整備します。
- ✓ 三次計画の基本方針におけるプランに、「健康づくり 心も体も健康で、みんなが社会とつながりながら元気に生き生きと暮らせるまち」と設定されており、心も体も健やかに保つための施設・空間をグリーンフィールド富岡跡地が提供します。



図 1.2 復興計画の体系

以下に上記の要素を、本計画のコンセプトにどのように反映させるか、整理します。

表 1.1 コンセプト検討に用いたキーワード

カテゴリ	インプット名	キーワード
グリーンフィールド富岡跡地に関する上位計画の方針	富岡町災害復興計画（第三次）	関係人口・交流人口の拡大 アクティビティの充実 心身の健康づくり

2. 計画条件の整理

2-1. 計画地の位置・概要

グリーンフィールド富岡跡地は富岡町総合スポーツセンターの東側に位置していることに加え、近隣には宿泊施設が立地しており、滞在型利用や複数日にわたる利用にも対応可能な環境が整っています。また、富岡町総合スポーツセンターの総合体育館や武道館は有事の際の指定避難所に指定されており、計画地も地域の防災拠点の一役を担うことが必要です。

また、計画地の南側には小学校・中学校や漁港・富岡漁港ぶらんこ広場が位置しており、今後の利活用にあたっては、利用者層のニーズを考慮した検討が必要となります。



図 2.1 計画地の位置と周辺状況 (引用:地理院地図 Vector)

表 2.1 計画地の概要

住所	福島県双葉郡富岡町小浜地内	
敷地面積	58,895.75 m ²	
都市計画・区域区分	非線引き都市計画区域	
用途地域	無指定	
建蔽率/容積率	60% / 200%	
都市計画公園指定	無指定	
復興整備計画範囲	範囲外	
用途	震災前	野外宿泊体験施設として、管理棟・宿泊棟、コテージ、キャンプサイト、アスレチック、BBQハウスなどを運営。
	震災後	経年劣化・管理不能等により建物は全て解体、現在計画地内の散策は可能。

2-2. 交通アクセス

計画地は JR 常磐線富岡駅からは車で約 6 分、常磐自動車道常磐富岡 IC からは車で 10 分の距離にあります。また、最寄りのバス停からは徒歩で約 13 分の距離にあります。

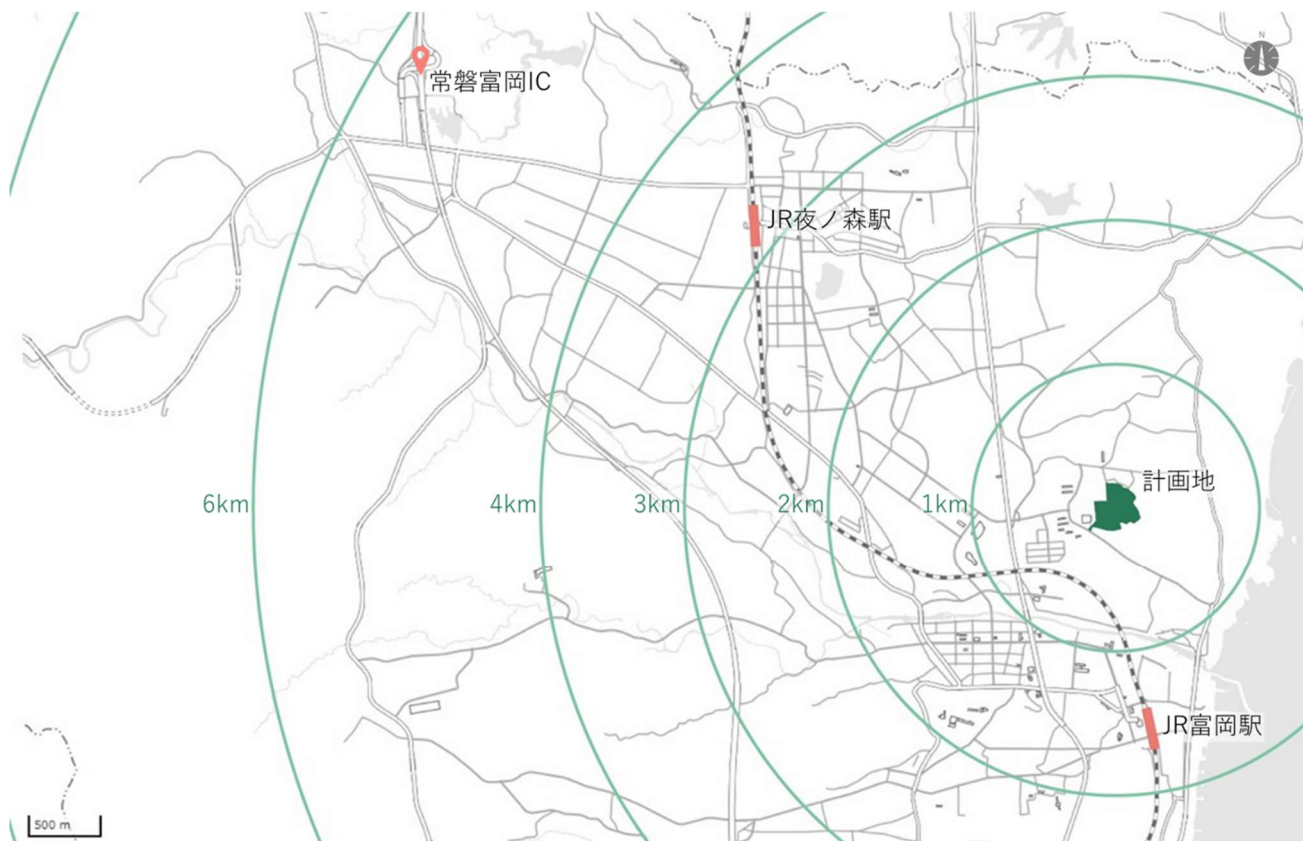


図 2.2 広域交通アクセス状況図 (引用：地理院地図 Vector)



図 2.3 路線バスによるアクセス (引用：地理院地図 Vector)

2-3. 富岡町総合スポーツセンター及び駐車場の状況

計画地に隣接する富岡町総合スポーツセンターの役割と利用状況を整理します。富岡町総合スポーツセンターは多様な運動設備を備えています。令和6年度には利用者数が35,000人に達するなど多くの方々に利用され、住民のみならず、県内外の人々にも利用される広域的な運動施設として位置づけられています。

表 2.2 富岡町総合スポーツセンター利用状況と設備規模

施設名	利用状況 令和6年度実績	設備規模	営業時間
総合体育館	7,964人	広さ 38×34m	火～金曜日 9:00～21:00 土日祝日 9:00～17:00 ※毎週月曜日休館
武道館	702人	広さ 27×42m	
多目的広場	7,713人	サッカー一面（人工芝、照明）	
ふれあい広場	2,357人	広さ 50×50m	
野球場	5,046人	広さ両翼 90m、中堅 120m	
テニスコート	2,588人	6面	
ふれあいドーム	4,411人	テニスコート 3面	
サブグラウンド	2,252人	ソフトボール 1面	
グラウンド・ゴルフ場	1,982人	16ホール	
合計利用者数	35,015人	—	

富岡町総合スポーツセンター内の各施設の位置と、設置されている駐車場を以下に整理します。



図 2.4 富岡町総合スポーツセンター施設及び駐車場台数

2-4. 計画地内の状況

計画地内の状況を以下の通り、整理します。

- ✓ 計画地内には、グリーンフィールド富岡の建築物等は残されており、全体的に更地の状態となっています。
- ✓ 計画地への主な出入口は、富岡町総合スポーツセンター側から連続する西側の動線および北郷会沢線に面した南側の2か所に設けられています。
- ✓ 計画地内には、全体にわたり樹木や草本類などの植生が確認され、自然環境が残された状態となっています。
- ✓ 計画地の中央付近には沢が存在し、これを横断するための橋が設置されています。
- ✓ 急な傾斜部分には階段が整備されています。
- ✓ 敷地西側には水道の給水枝管が整備されており、今後の利活用にあたっては、これら既存インフラの活用可能性も考えられます。



図 2.5 計画地の状況

3. 住民の意向

3-1. 参照した関連する取組の整理

計画地の整備方針を検討するにあたり、以下の取組内容を参照し、住民の意見を収集しました。

- ✓ 富岡町災害復興計画（第三次）ワークショップ
- ✓ 富岡町災害復興計画（第三次）検討委員会
- ✓ 住民主体のまちづくりワークショップ
- ✓ 体育施設利用者アンケート

3-2. 各取組の概要

A) 各取組の実施概要

表 3.1 各取組の実施概要

取組名	実施年度	実施回数	延べ参加人数
富岡町災害復興計画（第三次） ワークショップ	令和4年度	10回	173人
富岡町災害復興計画（第三次） 検討委員会	令和5～6年度	4回	143人
住民主体のまちづくり ワークショップ	令和5～7年度	7回	270人
体育施設利用者アンケート	令和7年度～	随時	138人

B) 各取組の実施目的

表 3.2 各取組の実施目的

取組名	実施の目的
富岡町災害復興計画（第三次） ワークショップ	富岡町の将来像やまちづくりのあり方、基本理念・方針について協議するにあたり、共通認識として町民や関係住民の意見を取り入れる。
富岡町災害復興計画（第三次） 検討委員会	富岡町住民から出された意見・アイデアをもとに、計画の基本となる重要事項を示す計画の骨子を作成する。
住民主体のまちづくり ワークショップ	富岡町住民を対象とし、住民の意向を十分に反映した計画検討や、住民主体の活動を展開していくためのネットワークを構築する。
体育施設利用者アンケート	体育施設利用者から利用促進につながる意見を収集する。

C) 体育施設利用者アンケート結果の概要

令和7年度に実施した体育施設利用者アンケートの結果を以下に示します。

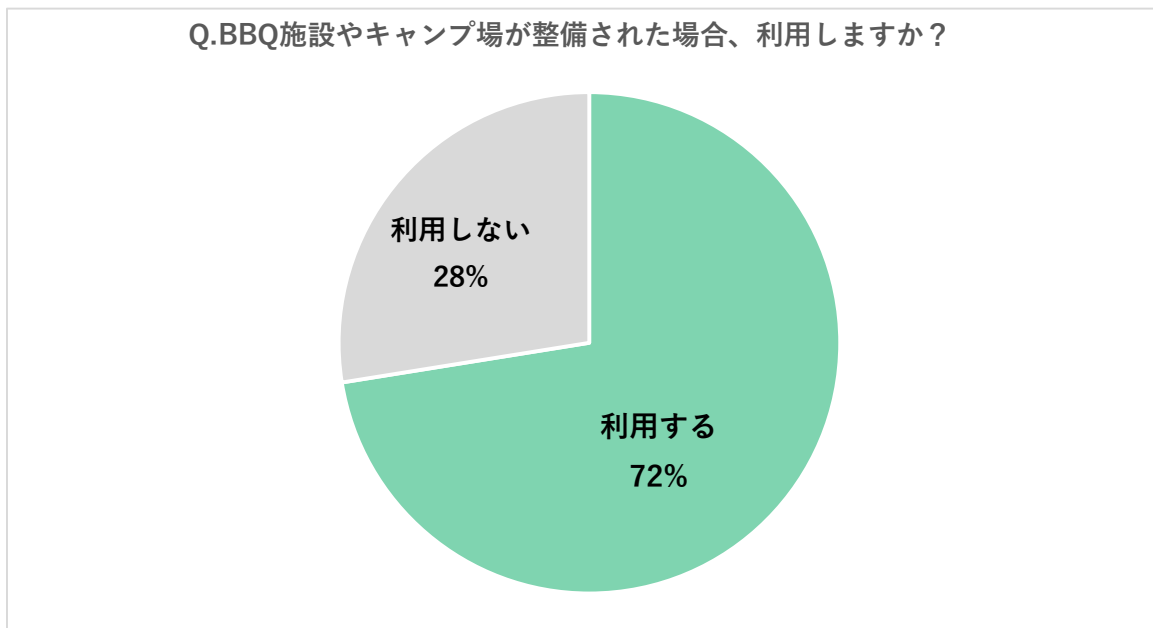


図 3.1 BBQ 施設やキャンプ場の利用意向アンケート結果

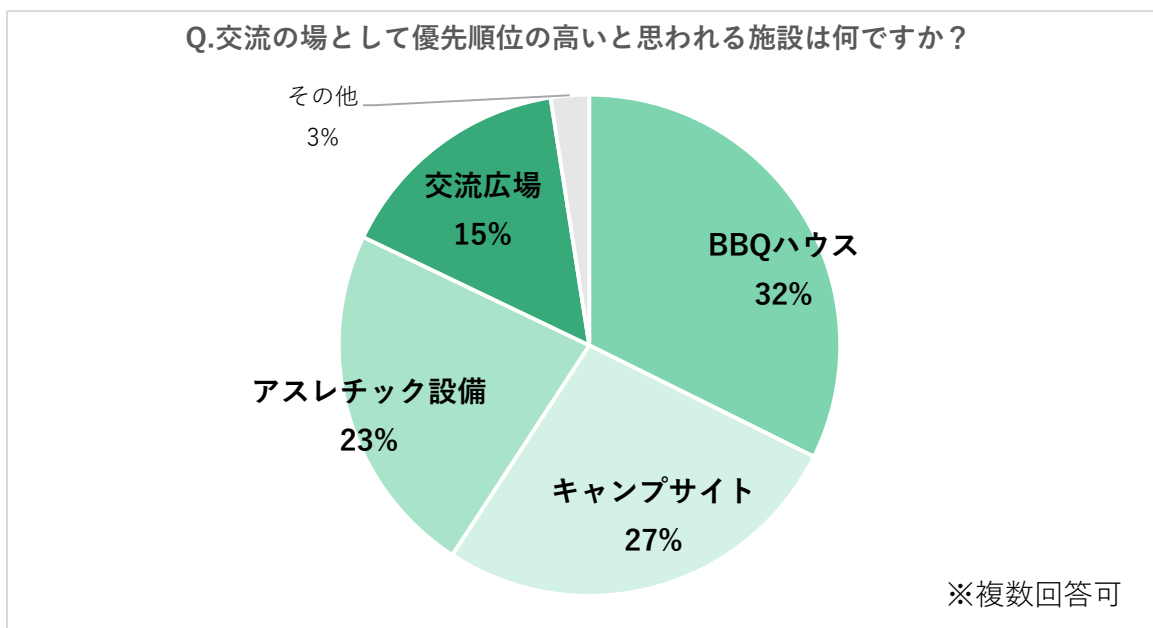


図 3.2 交流の場として優先順位の高い施設・設備についてのアンケート結果

3-3. 意向のまとめ

これらワークショップや検討委員会の結果から、計画地整備に関連するワードを抽出し、その出現頻度を考慮して、ワードクラウド※1を用いて整理しました。その整理結果が以下の通りとなります。

※1 ワードクラウドとは、文章中に出現する単語を抽出し、頻度が高いほど大きく表示して可視化した図のことです。主に意見や傾向の把握に用います。



図 3.3 住民の意向に関するキーワード

以上の結果から、コンセプト策定に活用するキーワードは次の通りとなります。

表 3.3 コンセプト検討に用いたキーワード

カテゴリ	インプット名	キーワード
住民の意見	富岡町災害復興計画（第三次） ワークショップ	人とのつながり 居場所づくり
	富岡町災害復興計画（第三次） 検討委員会	関係人口・交流人口の拡大
	住民主体のまちづくり ワークショップ	
	体育施設利用者アンケート	

また計画地に整備する機能方針検討に活用するキーワードは以下の通りとなります。

表 3.4 整備機能方針検討に用いたキーワード

カテゴリ	インプット名	キーワード
住民の意見	富岡町災害復興計画（第三次） ワークショップ	イベント・行事 ウォーキング・ランニング キャンプ・グランピング
	富岡町災害復興計画（第三次） 検討委員会	スポーツチームの後援 自然体感
	住民主体のまちづくり ワークショップ	BBQ・焚火 アクティビティ
	体育施設利用者アンケート	森林間伐・美化活動 情報発信 宿泊・滞在

4. 事業者の意見

4-1. 意見収集方法一覧

計画地の活用ニーズ把握のため、町内外の企業へのヒアリング調査を実施しました。令和6年度は個別企業ごとのヒアリング調査を5社行い、令和7年度は国土交通省のサウンディング調査を活用し、民間企業8社との対話を行っています。

4-2. 各意見収集方法の概要

A) 実施目的

本基本計画の検討にあたり、事業内容や事業スキーム等に関して民間事業者の視点からのコメントやアドバイスを求める目的で、令和6年度のヒアリング調査（プレ・サウンディング）および令和7年度の国土交通省サウンディング調査を実施しました。

B) ヒアリング・サウンディング調査概要

○ 実施概要

表 4.1 ヒアリング・サウンディング調査実施概要

年度	実施事項	項目	内容
令和6年度	ヒアリング調査	実施時期	令和6年6月～令和7年2月
		実施方法	非公募による個別ヒアリング（町で選定した事業者に個別に協力を打診）
		打診企業の業種と企業数	スポーツ施設運営 1社 アウトドア施設運営 2社 その他町内企業 2社
令和7年度	国土交通省サウンディング調査	実施時期	令和7年7月
		実施方法	国土交通省サウンディング制度の活用
		打診企業の業種と企業数	建設 4社 不動産 1社 施設運営 1社 PPP等のコンサルティング 2社

4-3. ヒアリング・サウンディング調査結果のまとめ

実施したヒアリング調査とサウンディング調査で収集した意見を以下に整理します。

表 4.2 ヒアリング・サウンディング調査結果まとめ

カテゴリ	意見
BBQハウス等のアウトドア施設 についての意見	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 計画地内の見え方・過ごし方を工夫し、大自然を感じられる体験価値を意図的に創出する必要がある。 ✓ 周辺の既存施設と利用動機が重複しないよう、明確なコンセプト設計が重要である。(提供体験、ターゲット、プログラム等)
スポーツに関連した 整備すべき機能についての意見	<ul style="list-style-type: none"> ✓ スケートボード等のアーバンスポーツは需要増に対し供給不足の地域も多く、導入余地がある。 ✓ 人気のウォーキングイベントを強化する導線として、既存遊歩道をコース化する。 ✓ 周遊性・滞在時間向上の観点から、サイクリングロード/サイクルステーション整備も考えられる。
その他の整備すべき機能 についての意見	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 地場食材の活用は来訪動機・地域らしさを創出するのに有効だろう。 ✓ ターゲットに合った機能設計が必要。 ✓ 町内の他施設と連携し、点在機能をつなぐ「拠点」になりうる。
集客、事業性についての意見	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 企業のCSR/福利厚生利用、将来の移住検討層に需要が見込まれる。 ✓ 被災企業の福利厚生・親睦利用、学生合宿のBBQ需要も想定される。 ✓ 中高生や都内大学生の低価格合宿ニーズもある。 ✓ 平日集客が難しいかつ、季節変動が大きく、閑散期対策を織り込む必要がある。

4-4. 意見のまとめ

以上の結果から、計画地に整備する機能方針の検討に活用するキーワードは以下の通りです。

表 4.3 整備機能方針検討に用いたキーワード

カテゴリ	インプット名	キーワード
事業者の意見	令和6年ヒアリング調査	ニュースポーツ アクティビティ
	令和7年国土交通省 サウンディング調査	宿泊・滞在

5. 跡地整備におけるコンセプト及び整備機能方針

5-1. コンセプト策定から供用開始の流れ

基本計画へ住民意見を反映させるための取組として、三次計画の計画策定過程で実施されたワークショップ等が出た意見のうち、本計画に関連する意見を広く抽出しました。また、ヒアリング調査、サウンディング調査の形式で、民間事業者の意見収集を実施しました。本章では、これらの住民および多様な民間事業者の意見を反映し、住民要望の実現と事業性を両立する整備方針とコンセプトを策定します。

また、基本構想・基本計画で定めたコンセプト等との一貫性を確保しながら、基本設計・実施設計・建設工事を通じてその具現化を図り、第一次整備を実施します。第一次整備の供用開始後、利用動向や事業性を確認しながら、第二次整備の内容を検討します。このようにして、持続可能性を担保しながら、住民意見が十分に反映され、多世代が訪れ賑わう施設を実現します。

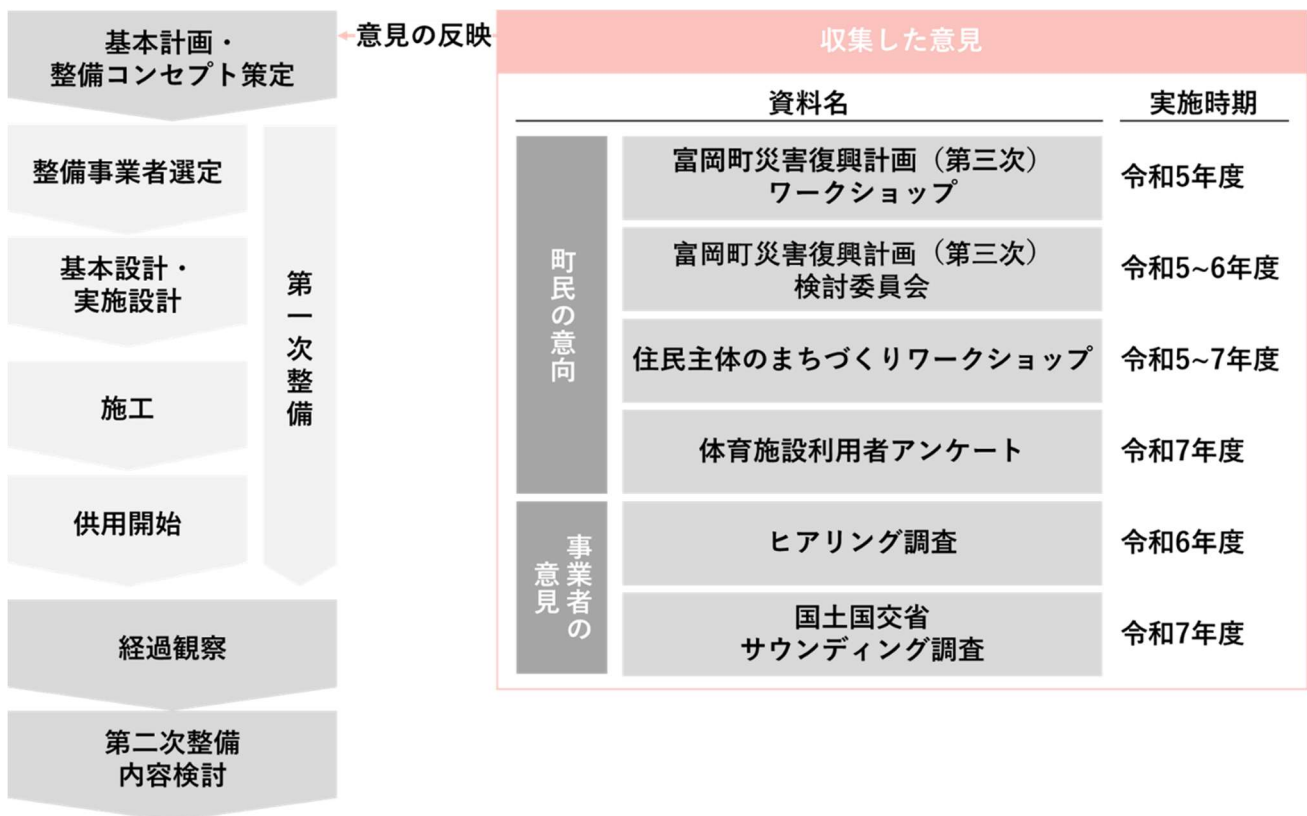


図 5.1 コンセプト策定から供用開始までの流れ

5-2. コンセプト策定

計画地に関する上位計画の方針、住民の富岡町に求める価値に関する意見・要望を整理し、計画地整備のコンセプト検討に用いるキーワードを抽出しました。

表 5.1 コンセプト検討に用いたキーワード

カテゴリ	インプット名	キーワード
グリーンフィールド 富岡跡地に関する 上位計画の方針	富岡町災害復興計画（第三次）	関係人口・交流人口の拡大 アクティビティの充実 心身の健康づくり
住民の意見	富岡町災害復興計画（第三次） ワークショップ	人とのつながり
	富岡町災害復興計画（第三次） 検討委員会	居場所づくり
	住民主体のまちづくり ワークショップ	関係人口・交流人口の拡大
	体育施設利用者アンケート	

上記キーワードからグリーンフィールド富岡跡地整備のコンセプトを以下の通りに定めます。

コンセプト

訪れる人が気軽に語らい、新しいつながり、人の輪が広がる

町内外の人たちが「自然とスポーツ」を通して世代を超えた“交流が生まれる空間”



5 - 3 . 機能整備方針策定

計画地に設置する機能の検討にあたり、アクティビティに関する住民の意見・要望と、整備・運営面での事業者の意見を抽出し、キーワードを整理しました。このキーワードをもとに整備機能の方針を策定します。

表 5.2 整備機能方針検討に用いたキーワード

カテゴリ	インプット名	キーワード
住民の意見	富岡町災害復興計画（第三次） ワークショップ	イベント・行事 ウォーキング・ランニング キャンプ・グランピング
	富岡町災害復興計画（第三次） 検討委員会	スポーツチームの後援 自然体感
	住民主体のまちづくり ワークショップ	BBQ・焚火 アクティビティ
	体育施設利用者アンケート	森林間伐・美化活動 情報発信 宿泊・滞在
事業者の意見	令和6年ヒアリング調査	ニュースポーツ アクティビティ
	令和7年国土交通省 サウンディング調査	宿泊・滞在

整備機能方針

整理したキーワードを踏まえ、コンセプトを支える機能の整備方針を定めました。

アウトドアレクリエーション

自然の中でゆったりと過ごし、人との距離が近づく時間を生み出す

BBQ やオートキャンプ、ニュースポーツなど、気軽に屋外を楽しめる環境を整え、家族や仲間、そして初めて出会う人とも自然に交流が生まれる場とします。隣接する富岡町総合スポーツセンター利用者や来訪者に開かれた空間とすることで、地域の魅力を体感し、再び訪れたいくなり、関係人口・交流人口の輪を広げることを目指します

自然体験

四季の変化や自然の息づかいを感じながら、歩く・学ぶ・見つける喜びを育む

緑に包まれた遊歩道を中心に、ウォーキング・ランニングや自然観察学習ができる環境を整備します。地域の子どもから来訪者までが、森や草花、鳥の声に触れながら自然の豊かさを実感できる空間とし、自然を通じて「人と人」、「人と地域」がつながる新たな交流の形を育みます。

スポーツアクティビティ

地域の魅力発信と滞在促進を担い、地域の活力を生み出す

※1BMX やスケートボードなど、※2 アーバンスポーツを楽しめる広場を整え、子どもや若者が思いきり体を動かせる場を提供します。技術を競い合い、教え合う中で世代や地域を超えたコミュニケーションが生まれ、スポーツをきっかけとした新たな関係人口・交流人口の創出につなげます。

※1 BMX とは「バイシクルモトクロス」の略称で、20 インチの小径ホイールと頑丈なフレームを持つ専用自転車を用い、ジャンプや起伏のあるコースを走行したり、技の完成度を競ったりする自転車競技を指します。

※2 アーバンスポーツとは日々暮らす「都市」を舞台に繰り広げられるスポーツのことを指します。

6. 計画地利用・施設整備方針

6-1. 導入機能

整備機能方針に従い、導入・整備する機能は以下を想定しています。

表 6.1 導入機能一覧

機能整備方針		導入機能
<p style="text-align: center;">アウトドア レクリエーション</p>	<p>自然の中でゆったりと過ごし、人との距離が近づく時間を生み出す</p>	<ul style="list-style-type: none"> ✓ BBQ ハウス ✓ オートキャンプ場 ✓ フリーキャンプ場 ✓ 広場 ✓ 炊事場 ✓ 管理棟 ✓ トイレ ✓ シャワー ✓ 駐車場
<p style="text-align: center;">自然体験</p>	<p>四季の変化や自然の息づかいを感じながら、歩く・学ぶ・見つける喜びを育む</p>	<ul style="list-style-type: none"> ✓ ウォーキング・ランニング場 ✓ 自然観察フィールド
<p style="text-align: center;">スポーツ アクティビティ</p>	<p>地域の魅力発信と滞在促進を担い、地域の活力を生み出す</p>	<ul style="list-style-type: none"> ✓ アーバンスポーツ機能

6-2. 計画地の施設配置方針

計画地の土地利用計画を検討するにあたり、以下の条件を設定します。

- ✓ グリーンフィールド富岡跡地整備は、住民・利用者の意見を継続的に収集し、改善を定期的に行うため、**スモールスタートで段階的な整備を行います。**
- ✓ 水道設備はエリア①とエリア③に配置します。
- ✓ 沢のあるエリア②は、現状の緑・自然を生かした整備を行います。
- ✓ 整備機能方針「アウトドアレクリエーション」のうち BBQ ハウスについては、気軽・手軽に利用できる特徴を踏まえ、スポーツセンターと最も回遊性の高い場所に設置することで施設相互の連携を図り、利用を促していきます。
- ✓ 東側に向かうほど、緑が深まり自然への没入感が増すことから、オートキャンプ場は東側に配置します。

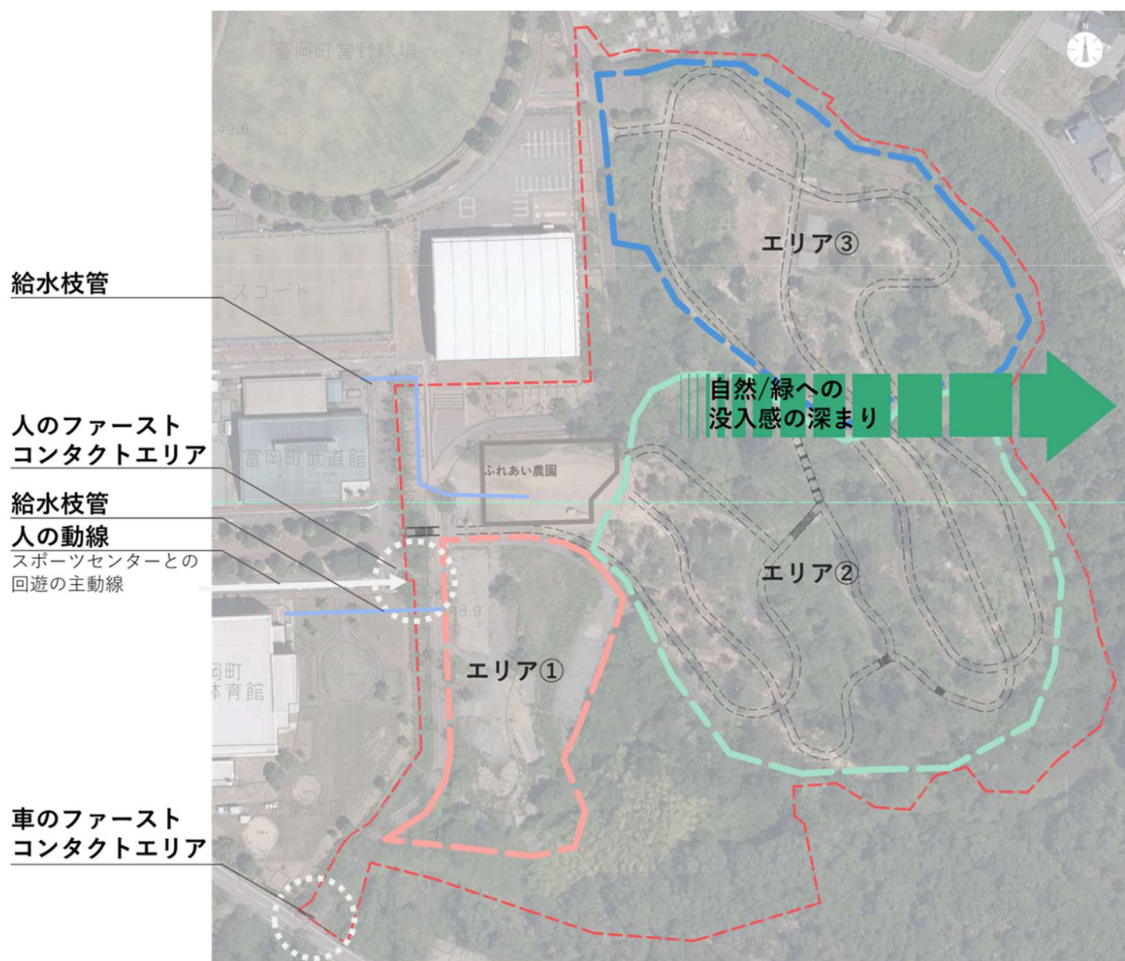


図 6.1 土地利用の検討条件

6-3. 計画地利用計画

図 6.2 の配置方針を踏まえ、次のようにエリアを設定します。

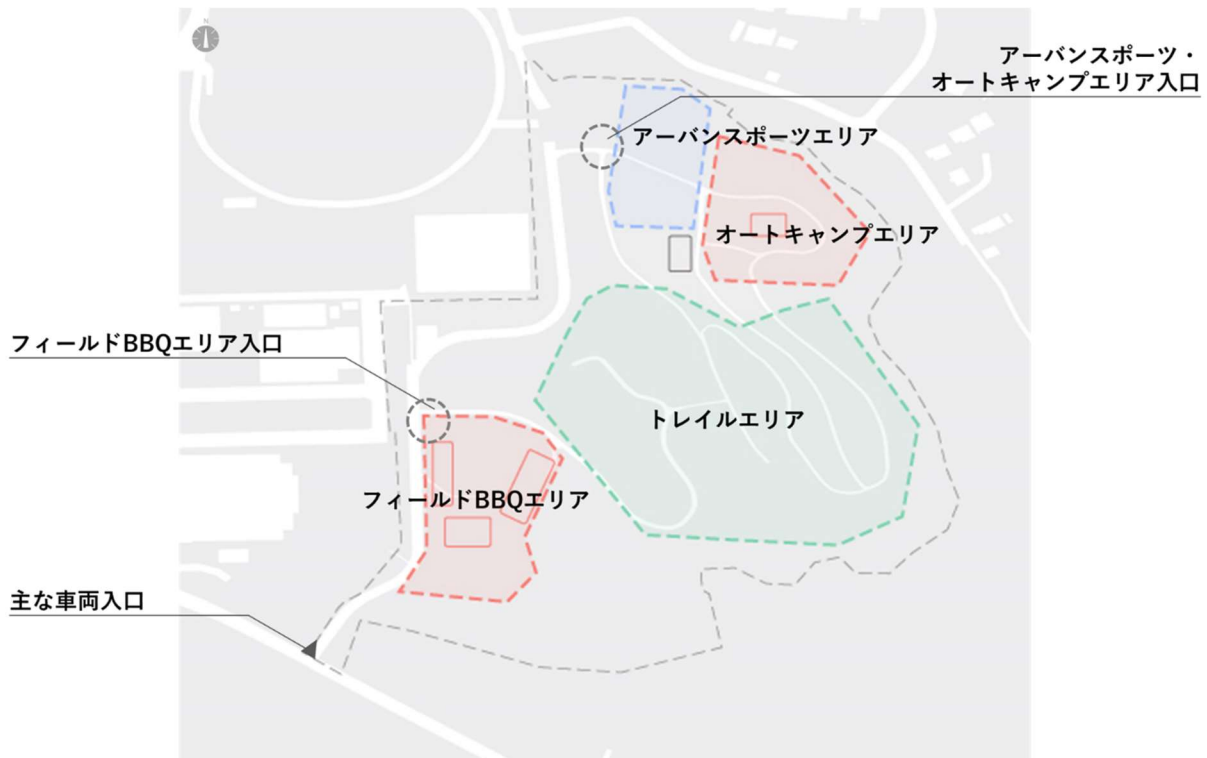


図 6.2 エリアイメージ

各エリアの機能と特徴は次のように想定しています。

エリア①
フィールド BBQ エリア

- ✓機能：
BBQ ハウス、炊事場、グリル洗いスペース、フリーキャンプ場、管理棟、シャワー、トイレ、広場、駐車場
- ✓想定利用者像：
週末レジャー層、ファミリー層、スポーツセンター利用者
- ✓特徴：
自然の中で気軽に BBQ を楽しめる開放的な空間。住民やスポーツセンター利用者、来訪者が集い、地域のにぎわいを育む場とする。
特に住民等からの要望も多く、交流拠点としての活用が見込まれ、有事の際は防災機能等の役割も有するため、**先行的に供用を開始。**

エリア③東側
オートキャンプエリア

- ✓機能：
オートキャンプ場、炊事場、トイレ
- ✓想定利用者像：
ファミリー層、キャンパー
- ✓特徴：
車で訪れキャンプができるエリア。自然に囲まれながらゆったりと過ごすことで、訪れる人々に地域の魅力を感じてもらう場とする。
エリア①の供用開始後に配置・規模等詳細を検討予定。

エリア②
トレイルエリア

- ✓機能：
ウォーキング・ランニング場、自然観察フィールド
- ✓想定利用者像：
幼児・小中学生（自然観察教室等）、健康志向の中高年層
- ✓特徴：
緑に包まれた遊歩道を中心に、ウォーキングやランニング、児童の自然教室などを実施できるエリア。
現在の自然豊かな環境を活かした整備を実施。
将来的に、地形を生かしたアクティビティや星を観察できる設備などを検討予定。

エリア③西側
アーバンスポーツ
エリア

- ✓機能：
BMX やスケートボード等アーバンスポーツ機能
- ✓想定利用者像：
小中高生・若者、スケーター、
アーバンスポーツのコミュニティメンバー
- ✓特徴：
BMX やスケートボードなど、スポーツセンターでは体験活動が難しい新しいスポーツを楽しめる広場。
エリア①の供用開始後、跡地全体を俯瞰して機能や配置箇所、規模等を検討予定。

本計画では、先行的に供用開始を目指すフィールド BBQ エリアの詳細検討を行いました。

6-4. フィールド BBQ エリアの機能詳細・想定規模・想定整備費用

A) エリア内の想定配置

フィールド BBQ エリアに、BBQ ハウス、炊事場、グリル洗いスペース、フリーキャンプ場、管理棟、シャワー、トイレ、広場、駐車場の機能を以下のポイントを踏まえ、配置することを想定します。

- ✓ 武道館南側の並木道と計画地の接点をエントランスゾーンとして設けます。
- ✓ 管理棟、シャワー、トイレはコンテナハウス、ユニットハウスタイプの設置を想定します。ユニットハウスタイプであることを考慮し、植栽等で視線を遮る配置とします。
- ✓ それぞれの機能を園路でつなぎ、施設の一体感を創出するとともに歩きやすい空間を確保します。
- ✓ 施設配置において、既存の樹木は可能な限り保全し活用する方針とします。

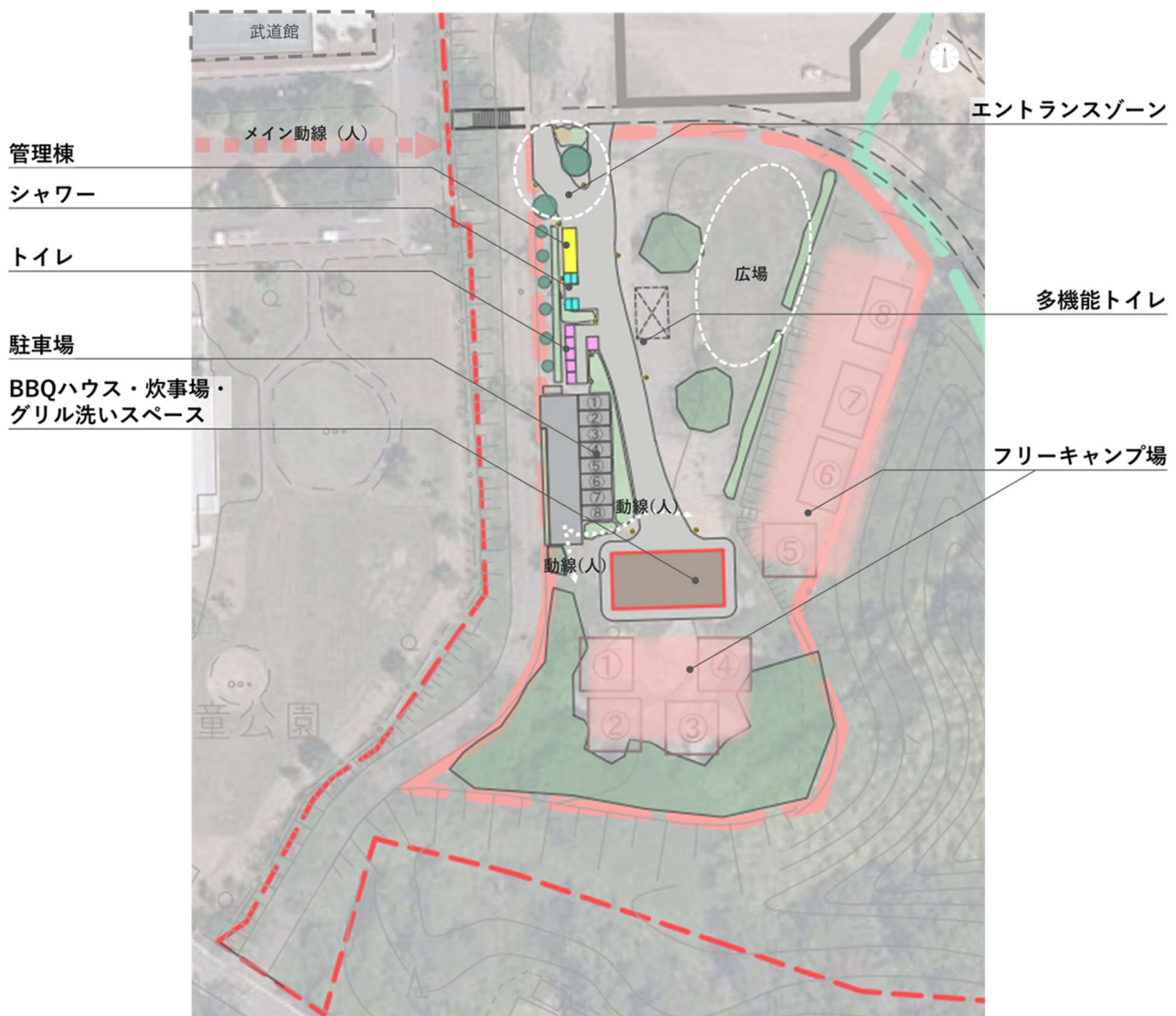


図 6.3 フィールド BBQ エリアの配置イメージ

B) 各機能の想定スペック

○ BBQハウス・炊事場・グリル洗いスペース

・ BBQハウス

【設備スペック】

1区画当たり、ベンチ3基、テーブル1基を設置。

BBQグリルは可動式のを貸し出しもしくは持参。

【機能】

最大10人利用でも区画内が広々使えるよう、配慮した規模(4m×4m)とする。

・ 炊事場

【設備スペック】

調理台を3基、流し台を2か所設置。

【機能】

調理台については、移動しやすいスペースの確保及び、流し台での作業動線と交差しないように配慮した配置とし、また、作業しやすいよう広めの台を設置。

・ グリル洗いスペース

【設備スペック】

グリル洗い場を4か所設置。

【機能】

グリルは食器等よりも大きいことや油汚れを洗い落とす手間を考慮し、流し台とは別に広めの洗い場を設置する。

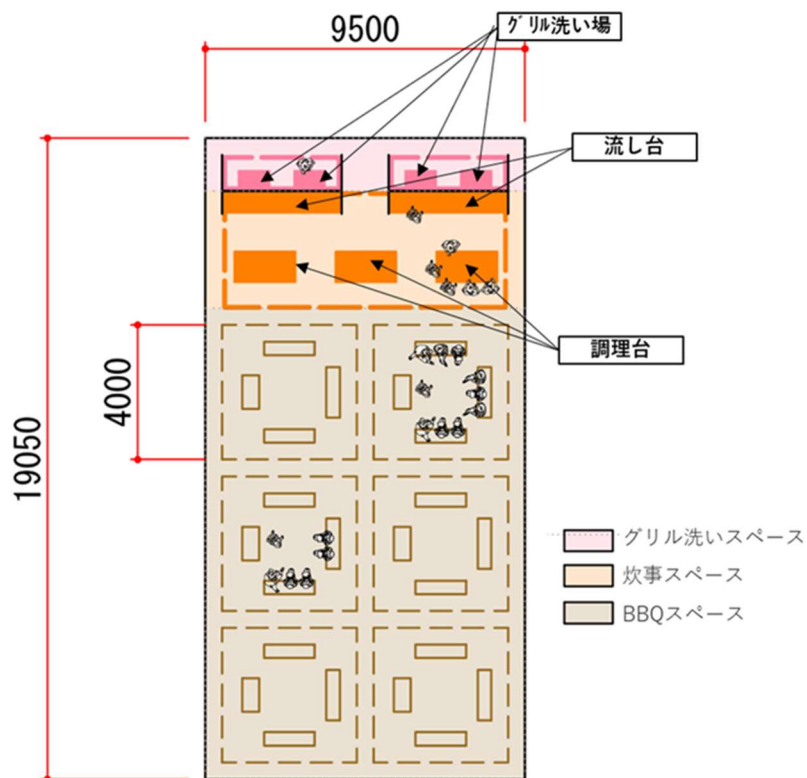


図 6.4 BBQハウス・炊事場イメージ

○ フリーキャンプ場・管理棟・トイレ・シャワー・駐車場

・ フリーキャンプ場

【設備スペック】

9m×9m または 7m×11m 程度の規模の区画を、概ね 8 区画を設けることが可能。

【機能】

オートキャンプとは区別する形で、キャンプができるスペースとして設置。

・ 管理棟

【設備スペック】

20 m²程度のコンテナハウスを設置。

【機能】

事務所機能のほか、倉庫、受付機能を設置。

・ トイレ

【設備スペック】

女性洋式 3 基、男性小 3 基、男性洋式 2 基、多機能トイレ 1 基、手洗 1 基を設置。

【機能】

ユニットのトイレ設置を想定。混雑時の利用も想定した数量を確保。

景観に配慮したユニットトイレの設置を検討。

・ シャワー

【設備スペック】

女性 2 室、男性 2 室、それぞれ更衣室を備えるユニットを設置。

【機能】

ユニットのシャワーを想定し、利便性にも配慮した更衣室付属型シャワーユニットを設置。

スタッフ不在時も利用できるよう、コインシャワー式を検討。

景観に配慮したユニットシャワーの設置を検討。

・ 駐車場

【設備スペック】

駐車場寸法は 2,700mm×5,400mm の車両ドアのフルオープンが可能な駐車スペースを設置。

【機能】

フィールド BBQ エリア利用者の駐車スペースとして設置。

C) 想定整備費用

計画策定時の想定としてフィールド BBQ エリアの整備に係る費用を試算しました。

表 6.2 フィールド BBQ エリア想定整備費用試算結果

費目	金額 (千円)
土木・造園工事	50,200
浄化槽設置	76,000
建築工事費	109,000
設計委託費	21,800
合計	257,000

D) 想定スケジュール

計画策定時のフィールド BBQ エリア供用までのスケジュールは以下を想定しています。

令和8年度		令和9年度		令和10年度		令和11年度
上半期	下半期	上半期	下半期	上半期	下半期	上半期
土木・造園 基本/実施設計		土木・造園 工事		建築部分 基本/実施設計		建築部分 工事
						供用 開始

図 6.5 フィールド BBQ エリア供用までの想定スケジュール

6-5. トレイルエリアの整備方針

トレイルエリアは現状の地形、植生といった自然環境を可能な限り生かし自然学習やウォーキングのできる環境を整備し、そのうえで景観維持を含めた維持管理を行います。

あわせて、滞在性と安全性の向上を目的にベンチや休憩施設、道順案内サインの整備を検討します。これらの整備により、自然を感じながら安心して歩けるトレイル環境の形成を図ります。



図 6.6 トレイルエリアの整備イメージ

6-6. アーバンスポーツエリアの整備方針

アーバンスポーツエリアは、総合スポーツセンターでの体験が難しい新たなスポーツ機能を有する施設を整備します。総合スポーツセンターとの連携も踏まえ、ふれあいドーム近くのエリア③にスケートボードやBMXなどのアーバンスポーツに対応した広場の整備を検討します。

スケートボードやBMXには、複雑な形状のコースで技を競う「パーク」や街中の風景を思わせるコースで技を競う「ストリート」を含む複数種目が存在します。こうした特性も踏まえて利用ニーズに応じた機能を取り入れ、初心者や若者が気軽にアーバンスポーツに親しめる広場の整備を検討します。

フィールドBBQエリアの供用開始後に、跡地全体を俯瞰しながら配置箇所や設置機能、規模等の検討を進めて参ります。

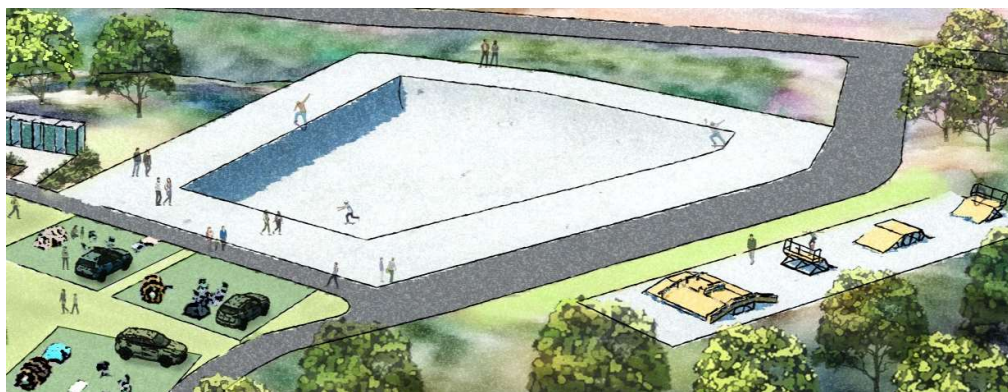


図 6.7 スケートボードエリアの整備イメージ

6-7. オートキャンプエリアの機能・想定規模

A) エリア内の想定配置

オートキャンプエリアに、オートキャンプ場、炊事場、トイレの機能を以下のポイントを踏まえ、配置することを想定します。

- ✓ エリア③のうち、より緑が深まり没入感を味わえる東側にオートキャンプ場を配置します。
- ✓ 各オートキャンプサイトからアクセスしやすい場所に炊事場を設置します。
- ✓ トイレは、主に隣接するアーバンスポーツエリアの利用者が使用することを想定し、西側に設置します。

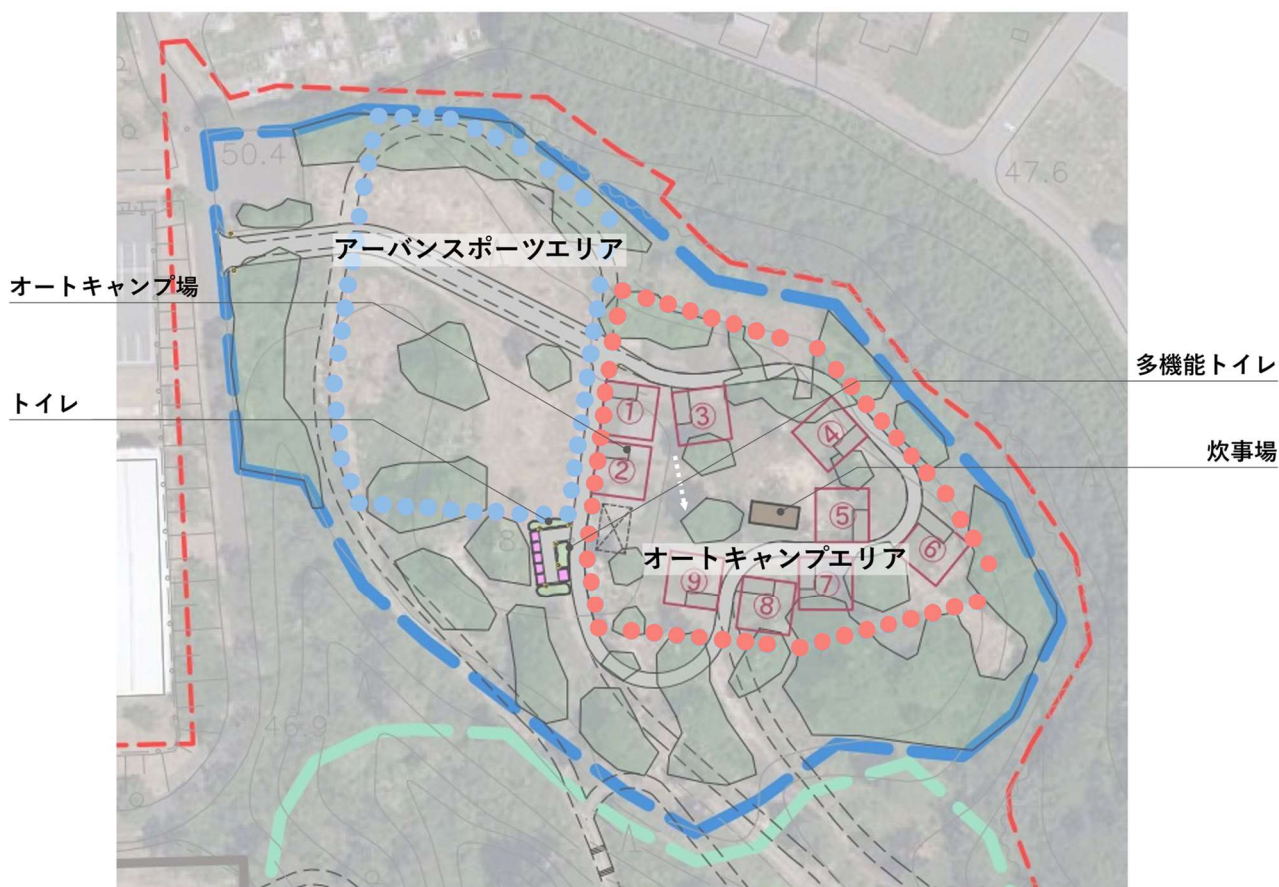


図 6.8 エリア③全体の配置イメージ

B) 各機能の想定スペック

○ オートキャンプ場

【設備スペック】

オートキャンプサイトは 10m×10m で設定。

【機能】

車をキャンプサイトまで乗り入れ、車のすぐそばにテントを設営するキャンプの実施を想定。

○ 炊事場

【設備スペック】

調理台と流し台を設置。設置数については、先行供用エリアの利用状況を鑑みて検討。

【機能】

調理台については、移動しやすいスペースの確保及び、流し台での作業動線と交差しないように配慮した配置とする。また、作業しやすいよう広めの台を設置。

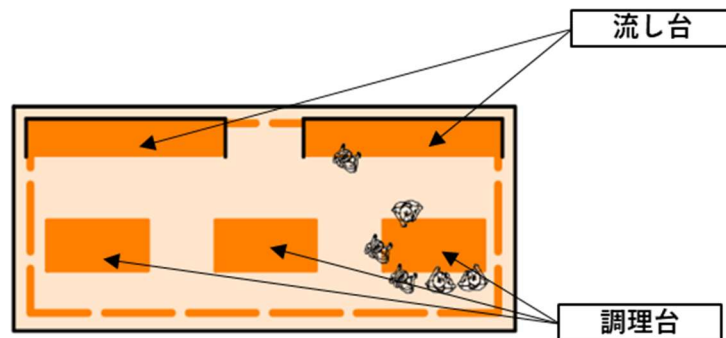


図 6.9 炊事場のイメージ

○ トイレ

【設備スペック】

女性洋式、男性小、男性洋式、多機能トイレ、手洗を設置。設置数については、先行供用エリアの利用状況を鑑みて検討。

【機能】

ユニットのトイレ設置を想定し、混雑時の利用も想定した数量を確保。

景観に配慮したユニットトイレの設置を検討。

C) 想定スケジュール

オートキャンプエリアのスケジュールについては、フィールド BBQ エリアの整備・供用状況を考慮しながら検討する想定です。

6-8. 近隣施設との連携

計画地の近隣施設である総合スポーツセンターや建設予定の美術館、ワイナリー、富岡漁港、富岡駅前周辺、夜の森地区に整備予定の中核拠点施設、夜の森公園などの都市公園等と連携することで、施設単体でなく町全体を周遊する中継拠点の1つとして一体的な関係人口・交流人口の拡大に寄与します。

町に訪れた人々が富岡町の魅力を知り、伝え、再訪するという仕組みづくりを関係各所と連携し、施設の最大限の効用が発揮できるよう努めます。



図 6.10 町内施設との位置関係図

6-9. 災害時の機能方針

隣接する富岡町総合スポーツセンターの総合体育館・武道館が指定緊急避難場所・指定避難所に、また野球場がヘリコプター臨時離着陸場に指定されており、本計画地においても災害時の役割を想定する必要があります。

富岡町地域防災計画では、指定緊急避難場所・指定避難所の整備に関する事項として、給食・給水施設として多様な供給方法の確保が必要であること、また避難所での生活が長期化する場合の対策として簡易台所・調理用品についての整備が必要なことが方針づけられています。これらの方針を踏まえて、本計画地の平常時および災害時の想定利用方法を設定します。

表 6.3 平常時および災害時の想定利用方法

施設・場所		想定利用方法		
名称	収容人数	平常時	災害時	
スポーツセンター	総合体育館	446	日常のスポーツ利用	避難者収容スペース ※指定緊急避難場所/ 指定避難所
	武道館	353	日常のスポーツ利用	避難者収容スペース ※指定緊急避難場所/ 指定避難所
	野球場	—	日常のスポーツ利用	ヘリコプター臨時離着陸場
グリーンフィールド跡地	BBQエリア	—	BBQ・キャンプ利用	炊き出し・簡易台所設置スペース
	トイレ	—	BBQ場・キャンプ場利用者のトイレ利用	避難者向けトイレ利用
	シャワー	—	BBQ場・キャンプ場利用者、ランニング等のスポーツ後のシャワー利用	避難者向けシャワー利用

6-10. 外構・植栽計画

外構・植栽計画を以下の通り設定します。

既存環境の活用

- ✓ 本計画では、既存の地形や樹木、植生など、現状の自然環境を最大限に生かしながら、必要な整備を行う方針とします。

樹木整理と景観配慮

- ✓ 既存樹木については、周辺環境への配慮や景観形成の観点から、原則として存置を基本としつつ、暗がりの発生や見通しの悪化、利用上の支障が生じる箇所については、選定・整理を行い、安全性と快適性の向上を図ります。
- ✓ 計画地内で過ごしやすくするために、視界を遮る植栽、通行を妨げる配置、動線の交錯など、利用の妨げとなる要素については適切に整理・改善します。

安全性・快適性の確保

- ✓ 利用者の安全性を確保するため、園路や広場、主要動線には歩きやすさに配慮した舗装や段差処理を行うとともに、夜間においても安心して利用できるよう、適切な照明計画を行います。
- ✓ 夏季においても快適に過ごせるよう、園路や広場、滞留空間には適切な木陰が生まれるよう配慮し、休憩や滞在がしやすい環境を整えます。

自然環境への配慮

- ✓ 植生や生態系への影響に配慮し、過度な伐採や造成は行わず、生き物と共生できる環境の保全を意識した外構・植栽とします。

利用性・分かりやすさ

- ✓ 初めて訪れる利用者にも配慮し、利用ルールや各エリアの位置関係が分かりやすくなるよう、サイン等の設置を検討します。

6-1 1. イメージパース

計画地に整備する予定の各エリアのイメージを示します。

A) エリア①（フィールド BBQ エリア）の想定利用イメージ



図 6.11 エリア①（フィールド BBQ エリア）のイメージパース

B) エリア②（トレイルエリア）の想定利用イメージ



図 6.12 エリア②（トレイルエリア）のイメージパース

C) エリア③（アーバンスポーツエリア／オートキャンプエリア）の想定利用イメージ



図 6.13 エリア③（アーバンスポーツエリア／オートキャンプエリア）のイメージパース

参考資料

(ア) 関係法令の整理

計画地に係る主な関連法令、条例等は次の通りです。

表 1 関連法令、条例等整理

法令	関連条例等
都市計画法	都市計画総括図 都市計画基本図
建築基準法	福島県建築基準法施行条例 福島県建築関係規則集
消防法	—
高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律	人にやさしいまちづくり条例（福島県）
景観法	—
屋外広告物法	福島県屋外広告物条例
旅館業法	福島県旅館業法施行条例
食品衛生法	—
土壤汚染対策法	—
道路法	—
文化財保護法	福島県文化財保護条例 富岡町文化財保護条例

(イ) 体育施設利用者アンケート調査結果

Q1.BBQ 施設やキャンプ場が整備された場合、利用しますか？

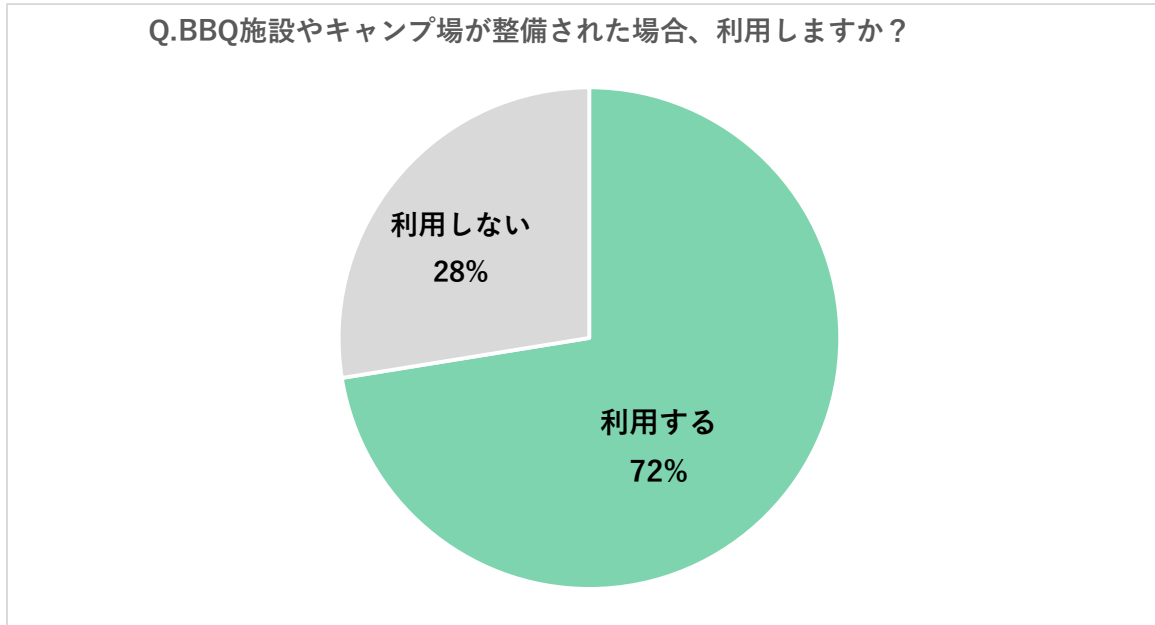


図 1 BBQ 施設やキャンプ場の利用意向アンケート結果

Q2.交流の場として優先順位の高いと思われる施設は何ですか？

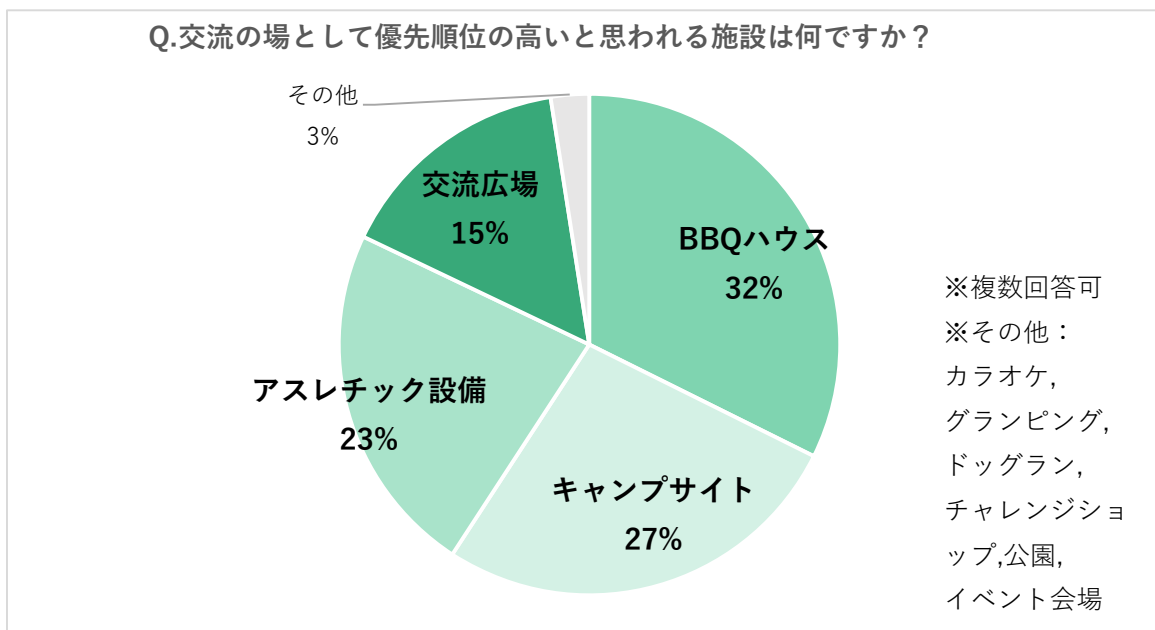


図 2 交流の場として優先順位の高い施設・設備についてのアンケート結果

Q3.体育施設利活用促進に必要なと思われる施設・機能はなんですか？

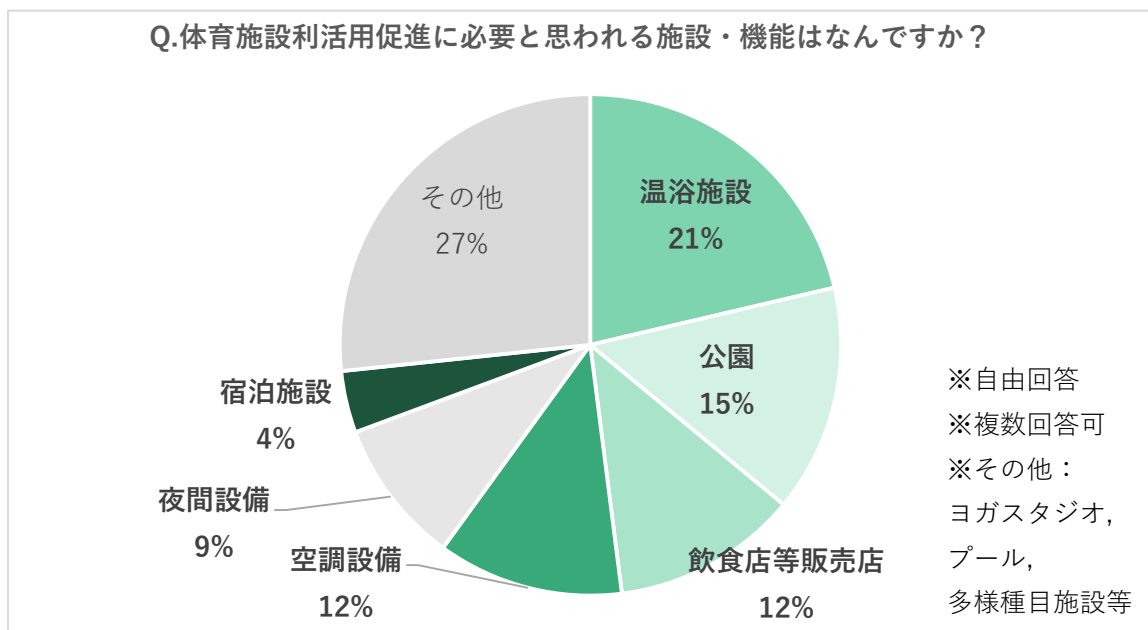


図3 体育施設利活用促進に必要な施設・機能についてのアンケート結果（自由回答）

Q4.その他、ご意見・ご要望をお聞かせください。（自由回答）

- ① 現在の居住先が遠方のため、整備されたとしても利用しない。
- ② 富岡町全体を考慮したうえで、整備を行ってほしい。
- ③ 子育てがしやすい町を目指してほしい。
- ④ 町外の方に足を運んでもらえるような施設を整備してほしい。
- ⑤ 誰もが住みやすいと思ってもらえるような施設を整備してほしい。
- ⑥ 広い公園、誰もがのんびり過ごせる施設を整備してほしい。

※全回答の中から抜粋し掲載

福島県富岡町
令和 8 年 3 月

※令和 7 年度原子力発電等立地地域基盤整備支援事業交付金を活用しています